

「運び方改革」に向けた 決起大会を開催



大阪府トラック協会は6月19日、大阪市中央区のホテル日航大阪において「運び方改革」に向けた決起大会を開催した。

2回目の開催となる今回の決起大会は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、リモートでの参加も可能となり、青年部会の会員事業者らが多く参加した。

この決起大会は、国民生活と産業活動に必要な物流を安定的に確保する責務を負うトラック運送業界が、政府の推進する「働き方改革」への対応として、荷主・元請事業者へ積極的に物流の改善を提案し、「ホワイト物流・自主行動宣言」を促進するとともに、トラック運送事業者もドライバーの労働条件・労働環境の改善ならびに長時間労働の是正等、生産性の向上に取り組む契機として開催したものである。

冒頭、大阪府トラック協会 中川才助 会長から挨拶が行なわれた。基調講演では、大阪府トラック協会 滝口敬介 専務理事から「標準的運賃の届け出状況」をテーマに講演が行なわれた。

この後、大阪府トラック協会 青年部会 林 英司 部会長より大会決議を実現する旨宣言し、参加者全員でガンバローコールが行なわれ、盛会のうちに今大会を閉会した。

大 会 決 議

令和6年4月からの、いわゆる「働き方改革」により、我われトラック運送事業者は大きな変革を迫られる。

ドライバーの時間外労働の上限規制により、これまでの運行形態を大きく見直さなければならないが、単に労働時間を抑えるだけではなく、それによりドライバーの賃金がかかることのないよう配慮しなければ、更なるドライバー不足が生じ、安定的な輸送力を確保できなくなる。

まさに事業存続の危機ともいえる状況にあって、解決の方策は「適正な運賃」の収受以外にはない。

これまでの商慣例・商慣習を変革するためには大きな痛みを伴うが、我われはその痛みを耐え、わが国のライフラインとしての役割を果たし続けるため、引き続き「運び方改革」を行なうことを、ここに決議する。

令和3年6月19日



一般社団法人大阪府トラック協会

会 長 中川 才助

青年部会長 林 英司